

会 議 録 (3)

発 言 者	発 言 内 容
白井会長	<p>※ 委員発言が行われた部分のみ記述する。</p> <p>「地域包括支援センターの運営状況について」を議題とする。事務局から説明をお願いします。</p>
亀田主幹	<p>資料 1 - 1 地域包括支援センターの運営状況について</p> <p>資料 1 - 2 日常生活圏域別人口等</p> <p>資料 1 - 3 令和元年度及び平成 30 年度の入間市地域包括支援センター活動状況報告書（包括別累計）</p> <p>資料 1 - 4 地域包括支援センターの一般介護予防事業の取り組みについて</p> <p>資料 1 - 5 生活支援体制整備事業について</p> <p>を用いて説明。</p>
白井会長	<p>事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。</p>
川名委員	<p>資料 1 - 5 について、第 1 層生活支援コーディネーターと第 2 層生活支援コーディネーターの具体的な違いは何か。第 2 層生活支援コーディネーターの上に第 1 層生活支援コーディネーターが位置付けられており、各圏域を統括しているという認識でよいか。</p>
亀田主幹	<p>それぞれの圏域の第 2 層協議体にて抽出された地域課題から、市全域で対応していくべき課題について第 1 層協議体で協議を行う。そのため、構造としては第 2 層協議体の上に第 1 層協議体があるといえる。</p>
池野主事	<p>生活支援コーディネーターの関係性で言えば、第 1 層生活支援コーディネーターと第 2 層生活支援コーディネーターに上下関係はない。あくまで、担当している範囲が違うだけであり、活動内容は基本的に同じである。</p>

発 言 者	発 言 内 容
川名委員	<p>平成28年に第1層協議体が社会福祉協議会に設置された時から、市全域を第1層生活支援コーディネーターが一人で担当するのは大変であると感じている。頑張っていたきたい。</p>
川名委員	<p>当日配布されたパンフレットについて、市民への配布状況を教えていただきたい。活動している団体が希望すればもらうことはできるのか。また、何部用意されているか。</p>
亀田主幹	<p>「簡単セルフチェック&元気体操」と「高齢期の健康を守るトレーニングガイド」については、要支援者に配布することを想定している。要支援者に限らず、高齢者に配布することで、市全体で介護予防を推進していけたらよいと感じているので、今後高齢者担当部局とも調整を行っていききたい。部数としては1000部程度用意した。</p>
瀧澤委員	<p>現在金子地区の第2層協議体に委員として参加し、金子地区にて行えることを検討している。第2層協議体について、各圏域の進捗状況について可能であれば教えていただきたい。</p>
池野主事	<p>資料1-5に記載された令和元年度協議体開催数が一つの目安になると思う。しかし、実情としては介護保険課が関わっていないところでも各圏域で生活支援に関する活動は進んでおり、一概に進捗具合の優劣をつけることは難しい面がある。</p>
臼井会長	<p>補足すると、社会福祉協議会にてかかわりが深い、近隣助け合い活動推進協議会が9圏域で活動しており、豊岡第一（豊岡西）や西武で支え合い活動が開始した。藤沢地区のグリーンヒル等では、マンション単位での支え合い組織が活動している。生活支援体制整備は介護保険課の事業だけでなく、社会福祉協議会等他の団体でも取り組まれている。</p>

発 言 者	発 言 内 容
瀧澤委員	<p>社会福祉協議会の仕事は、入間市全域を対象にした生活支援体制整備事業を推進していくという認識でよいか。</p>
池野主事	<p>社会福祉協議会に配置している第1層生活支援コーディネーターの業務についてはその通りである。社会福祉協議会は、各圏域の支え合い活動を推進する地域福祉コーディネーターも配置しており、圏域ごとの支援も行っている。</p>
増子委員	<p>3点伺う。①資料1-3について、令和元年度の地域包括支援センターと認知症初期集中支援チームの連携回数が10回であり、地域包括支援センターの数から考えて少数に見受けられるが、どのように分析しているか。</p> <p>②資料1-4について、モデルとなる取り組みとして ZOOM での介護予防教室を実施し、今後この取り組みを広げていく見通しについて説明をいただいたが、高齢者にとって参加しやすいものであったか。</p> <p>③今回の新型コロナウイルス感染症のようなパンデミックが起きた際の、業務継続マニュアル等は整備されているか。また、その予定はあるか。今回市が取った対応等あれば教えていただきたい。</p>
亀田主幹	<p>① 初期集中支援チームとの連携は全ての認知症について対応しているわけではなく、初期集中支援チームが関わるべきだと判断した事例のみ連携を行っているためこの件数になっている。認知症の相談件数は今後増加していくことが予測されるため、市としても力を入れて取り組んでいきたい。</p> <p>② 最近は高齢者のスマートフォン等デジタル機器の普及率も高まっていると聞いている。また、今回の介護予防教室では、事前に参加者に対し利用方法のレクチャーを行った。</p> <p>③ BCP 作成の必要性は感じており現在検討中である。緊急事態宣言時の対応について、各地域包括支援センターへは市役所同様の在宅勤務</p>

発 言 者	発 言 内 容
増子委員	<p>の実施を行った。また、地域包括支援センターが閉鎖された際起こりうるであろう問題点について各地域包括支援センターより意見を聴収し、意見交換を行うとともに、あらためて職員の感染予防について呼びかけを行った。</p> <p>認知症初期集中支援チームについては、期間ごとに実施する件数を定め、行政側から実施を呼びかけることが望ましいと考える。</p> <p>ZOOM による介護予防教室は、モニターとなる PC 機器及びインターネット回線の個人所有が前提となっていることが課題であると考え。今後モデル事業として広げていくことが適切か改めて検討していただきたい。</p>
白井会長	<p>次に「地域密着型サービス事業者の指定状況等について」を議題とする。事務局から説明をお願いします。</p>
沼井主幹	<p>資料 2 市内地域密着型サービスの指定状況を用いて説明。</p>
白井会長	<p>地域密着型サービス事業者の指定状況等について、事務局から説明されたとおりである。</p>
各委員	<p>了承</p>
白井会長	<p>次に「地域密着型サービス事業者の運営状況等について」を議題とする。事務局から説明をお願いします。</p>
沼井主幹	<p>資料 3 地域密着型サービス事業所の運営状況等についてを用いて説明。</p>

発 言 者	発 言 内 容
白井会長	事務局から説明があった。各委員のご意見をいただきたい。
小林委員	資料3によると、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、入間市より市内介護サービス事業所等にマスク等を配布したとのことだが、現在市場には、装着しても効果が薄いマスクも流通している。また、マスクを装着していたにもかかわらず感染をしてしまったケースもあるため、マスクの種類や使い方等も注意していただきたい。
小林委員	本日配布された「入間市介護情報まるわかりブック」は市税によって作成されたものか。
池野主事	株式会社ホープと共同して発行したものであり、市税は使われていない。
白井会長	次に「その他」議題とする。
亀田主幹	<p>前回、書面開催した運営協議会にて、川名委員より「担い手不足の現状において、今後は若い世代も気軽に担い手になれるような工夫が必要である。包括の存在や役割を知らせるため、新しい広報手段を検討してみてはどうか」というご提案をいただいた。</p> <p>それを受けて、令和2年7月8日に開催した地域包括支援センター長会議にて協議を行った結果、各地域包括支援センターでFacebookアカウントを作成し、広報活動をしてみてはどうかとの話になり、今後、研究・検討していく運びとなった。今後の動向について、都度運営協議会にてご報告させていただく。</p>
白井会長	以上で本日の議題を終了する。

発 言 者	発 言 内 容
	<p>※議題終了後、企画課より地区センター化についての説明があり、質疑 応答を行った。</p>

議事の内容・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。

2年 9月 2日

議 長 の 署 名

白井 香